

令和6年度

浜松市四大地財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

浜 松 市 監 査 委 員

浜 監 第 93-2 号

令和 7 年 10 月 9 日

浜松市長 中 野 祐 介 様

浜松市監査委員 石 坂 守 啓

浜松市監査委員 佐 藤 雅 秀

浜松市監査委員 太 田 康 隆

浜松市監査委員 須 藤 京 子

決算の審査意見の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により令和 6 年度四大地財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

令和6年度 浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見	5
第1 審査の基準	5
第2 審査の対象	5
第3 審査の期間	5
第4 審査の着眼点及び実施内容	5
第5 審査の結果	5
第6 決算状況	6
1 決算収支	6
2 決算の計数	6
3 歳 入	6
4 歳 出	7
第7 財産管理の状況	7
1 公有財産	7
2 基 金	7

凡 例

本文及び表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 本文及び表中に用いた年度は、審査意見を除き、原則として元号を省略した。
- 2 本文中に用いた金額は、原則として万円未満を切り捨てて表示した。
- 3 本文及び表中に用いた比率は百分率で、原則として、小数点第2位を四捨五入して表示した。
- 4 表中に用いた金額は、原則として千円未満を切り捨てて表示した。したがって、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 5 各表の資料は、特別会計決算書又は関係部局からの提出物を基に作成した。

令和6年度 浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見

第1 審査の基準

この審査は、浜松市監査基準(令和2年浜松市監査委員告示第2号)に準拠して実施した。

第2 審査の対象

令和6年度浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算

上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第3 審査の期間

令和7年7月1日から同年8月22日まで

第4 審査の着眼点及び実施内容

主に以下の点を着眼点とし、検証した。

- ・ 審査に付された決算書その他関係書類が適正に作成されているか
- ・ 決算書類に記載された計数は正確であるか
- ・ 歳入歳出予算は適正に執行されているか

審査手続については、試査を基礎として行い、会計管理者が所管する諸帳簿と照合し、計数の確認のほか、関係職員から説明を聴取し、予算の執行状況等について審査を行った。

第5 審査の結果

上記のとおり審査した限り、重要な点において、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であることが認められた。

また、歳入歳出予算の執行はおおむね適正であると認められた。

第6 決算状況

1 決算収支

決算収支状況

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	6年度	5年度	増 減 額	対前年度比
歳入決算額 (A)	52,259	53,745	△ 1,485	97.2
歳出決算額 (B)	21,685	23,007	△ 1,321	94.3
歳入歳出差引額 (A)-(B) (C)	30,574	30,737	△ 163	99.5
翌年度へ繰り越す べき財源 (D)	0	0	0	—
実質収支 (C)-(D) (E)	30,574	30,737	△ 163	99.5
前年度実質収支 (F)	30,737	31,512	△ 774	97.5
単年度収支 (E)-(F)	△ 163	△ 774	611	21.1

歳入決算額は5,225万円、歳出決算額は2,168万円となっている。実質収支は、3,057万円の黒字で、令和5年度に比べて、16万円(0.5%)減少した。また、単年度収支は、16万円の赤字である。

2 決算の計数

令和7年5月31日(出納閉鎖日)現在における歳計現金の在 high は普通預金3,057万円で、令和6年度の歳入歳出差引額と合致する。

3 歳入

歳入の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	6年度	5年度	増 減 額	対前年度比
財産収入	21,450	22,178	△ 728	96.7
財産運用収入	21,435	22,163	△ 728	96.7
財産売却収入	15	15	0	100.0
繰越金	30,737	31,512	△ 774	97.5
諸収入	72	54	18	133.3
合 計	52,259	53,745	△ 1,485	97.2

歳入は5,225万円で、令和5年度に比べて、148万円(2.8%)減少した。主として繰越金77万円及び財産運用数入72万円が減少したことによるものである。

4 歳出

歳出の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	6 年度	5 年度	増 減 額	対前年度比
議 会 費	1,539	999	540	154.1
議 員 報 酬	317	211	105	150.2
視 察 研 修 費	530	698	△ 167	75.9
議 長 交 際 費	5	9	△ 4	55.6
一 般 諸 経 費	687	80	606	858.8
総 務 費	20,145	22,008	△ 1,862	91.5
一 般 管 理 費	1,934	2,084	△ 149	92.8
財 産 管 理 費	18,211	19,924	△ 1,713	91.4
合 計	21,685	23,007	△ 1,321	94.3

歳出は2,168万円で、令和5年度に比べて、132万円(5.7%)増加した。主として一般諸経費60万円が増加したものの、財産管理費171万円及び視察研修費16万円が減少したことによるものである。

第7 財産管理の状況

財産現在高

区 分			6 年度末	5 年度末	増 減 高	
公有財産	建 物	面 積 (㎡)	381.75	381.75	0.00	
	山 林	所 有	面 積 (㎡)	1,411,636.83	1,411,636.83	0.00
			立 木 (㎡)	7,820.83	7,721.66	99.17
基金	現 金	積 立 基 金 (千円)	275,940	271,940	4,000	

1 公有財産

(1) 建物

建物の面積は令和6年度末現在381.75㎡で、令和5年度末と同じである。

(2) 山林

山林の面積は令和6年度末現在141万1,636.83㎡で、令和5年度末と同じである。立木の推定蓄積量は令和6年度末現在7,820.83㎡で、令和5年度末に比べて、99.17㎡増加した。これは、自然成長によるものである。

2 基金

基金の現金は令和6年度末現在2億7,594万円で、令和5年度末に比べて、400万円増加した。これは元金積立によるものである。